

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 一般住宅向けの上吊式引戸金物です。
- 扉を閉じるときにクローザーが働き、2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

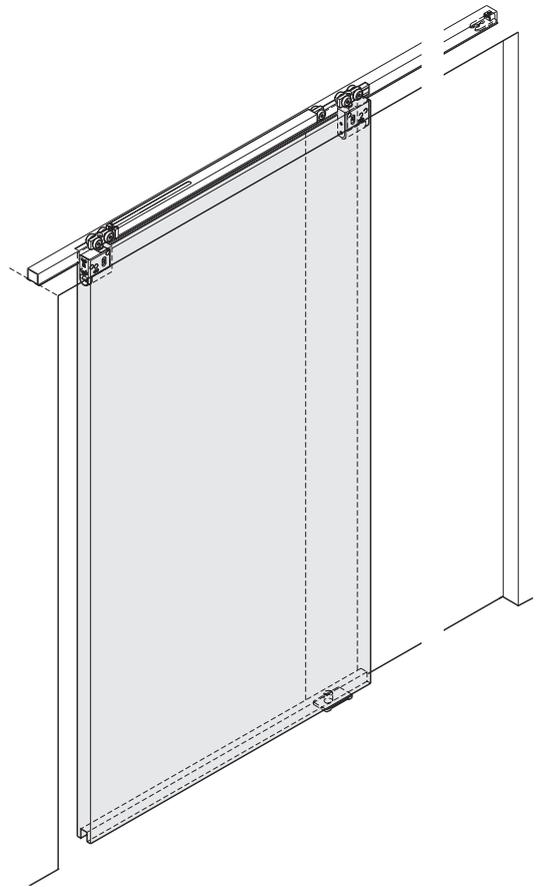
仕様

扉高さ	2400mm 以下
扉幅	510mm ~ 1000mm
扉厚	24mm 以上
扉質量 (1枚当り)	30kg以下 ※ ¹
扉上下調整範囲	± 4mm
扉前後調整範囲	± 2mm

・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じ速度は変わります。

・使用推奨温度範囲は5℃～40℃です。

※¹ 軽い扉で使用した場合、扉を開ける際の抵抗が大きく感じることがあります。



正しく安全に取り付けていただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
--	--	--

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行なってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起も行ってください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください。)

部品一覧

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

No.	①	②	③	④	⑤	
品名	引戸クローザー	上ローラー (掘込用)	上キャッチ	下ガイド (ローラー付)	ソフトクローザー専用 レール (面付用)	ソフトクローザー専用 レール (掘込用)
品番	FD30EX-WRH-SC	FD30-WRH	FD30-HTST-GR	FD30-HBG	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型
部品						
付属品	十字穴付なべタッピンねじ 3.5×30 …………… 3ヶ	十字穴付なべタッピンねじ 3.5×30 …………… 4ヶ	—	十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30 …………… 5ヶ	—	—
備考	—	—	—	—	推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×20	

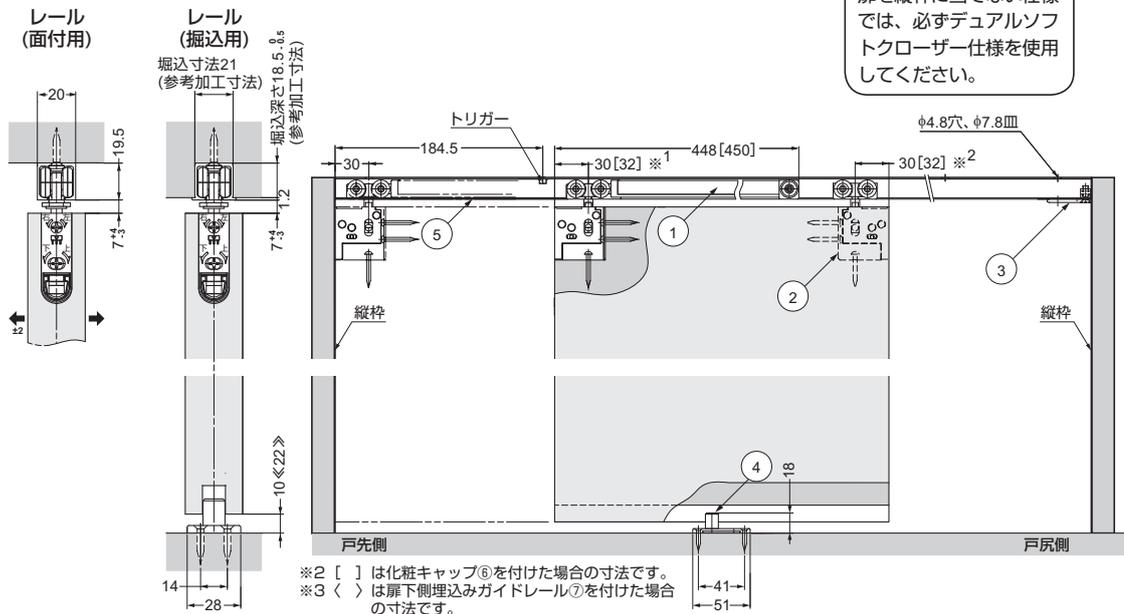
オプション	No.	⑥	⑦	⑧
	品名	上ローラー用 化粧キャップ	扉下側埋込み ガイドレール	下ガイドローラー付 (軸長タイプ)
	品番	FD30-WRH-CP	FD30-HBRT1500SIL	FD30-HBGH
部品				
				付属: 十字穴皿タッピンねじ 3.5×30 …………… 4ヶ (ステンレス鋼)

付属品	スパナ
	FD30-FSP

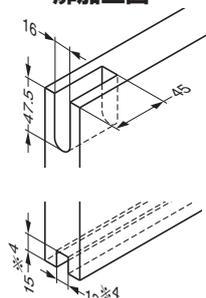
寸法図

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

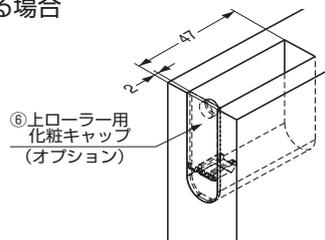
納まり図 クロスを巻き込む場合、その厚みを加味してください。



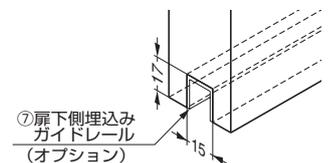
扉加工図



※² 上ローラー用化粧キャップ⑥を使用する場合



※³ 扉下側埋込みガイドレール⑦を使用する場合



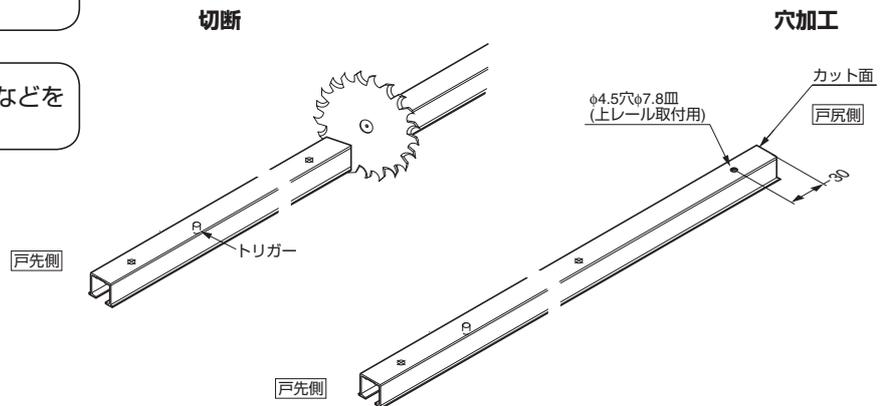
1 レールの切断と穴加工

注意

トリガー（戸先）側は切断しないでください。

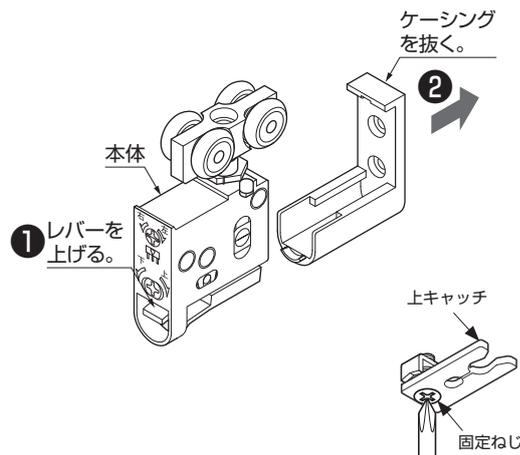
注意

レールが変形しないように補強材などを入れて切断してください。



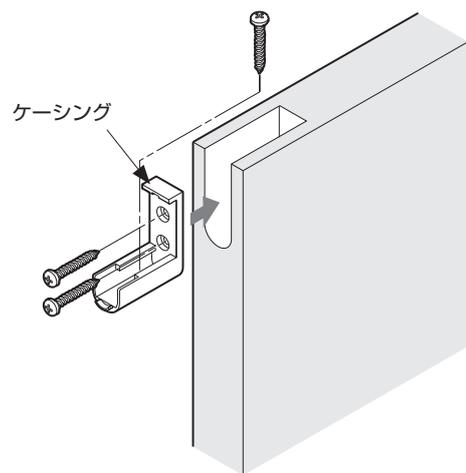
2 部品の組み込み準備

引戸クローザーと上ローラーをそれぞれ、本体とケーシングに分け、上キャッチの固定ねじを緩める。

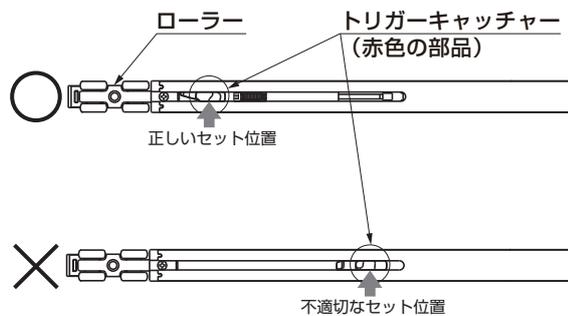


3 ケーシングの取り付け

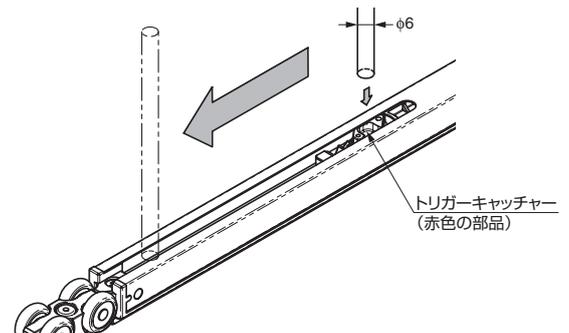
付属ねじで確実に固定する。



4 引戸クローザーを取り付ける前の確認



位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒等でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻す。



注意

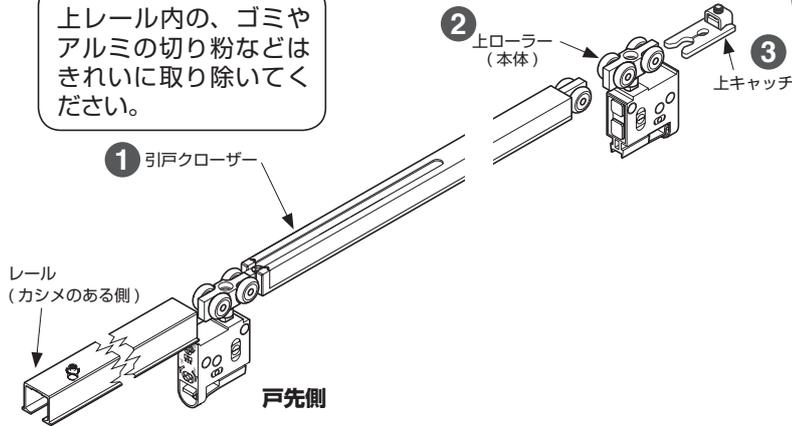
確認しないで取り付けした場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。

5 上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①～③の順番で組み込む。

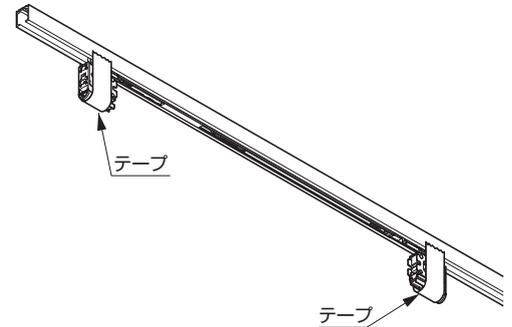
注意

上レール内の、ゴミやアルミの切り粉などはきれいに取り除いてください。



注意

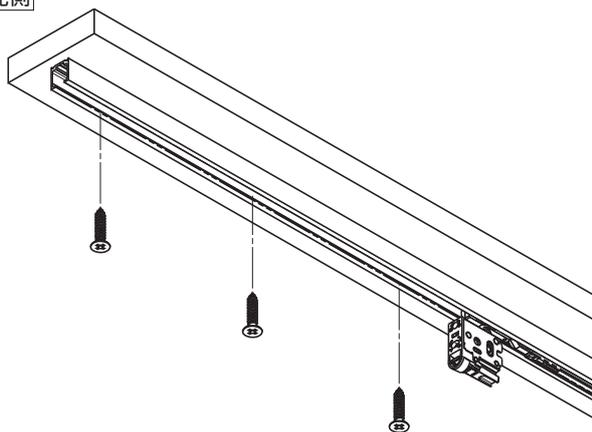
組み込んだ部品が落ちないように、上レールとクローザー、上ローラーをテープで仮止めしてください。



6 上レールの取り付け

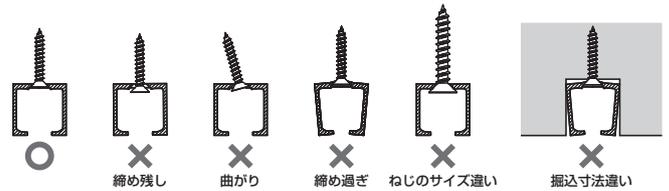
(推奨ねじ：十字穴付皿タッピンねじ 3.5×20：お客様手配)

戸先側



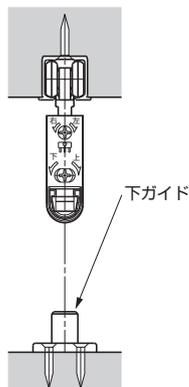
注意

ねじの締め過ぎやねじ頭の出っ張りに注意してください。レールが変形したり、ねじ頭がソフトクローザーに接触するなどしてソフトクローザーが誤動作することがあります。

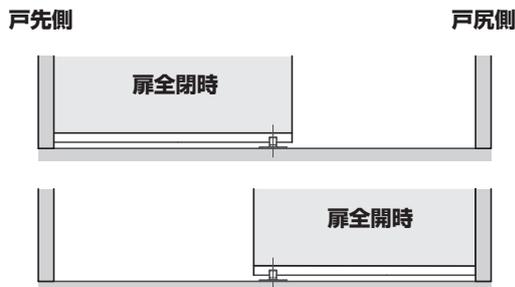


7 下ガイドの取り付け (仮止め)

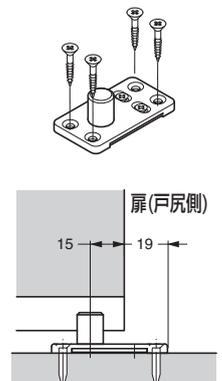
上レール中心の真下に、下ガイドの中心を合わせる。



扉を開けたときも閉めたときも下ガイドの凸部が扉から外れない位置にする。

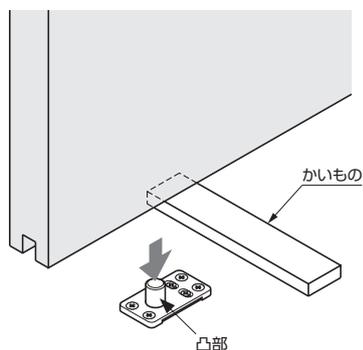


付属ねじで皿穴4箇所を固定する。

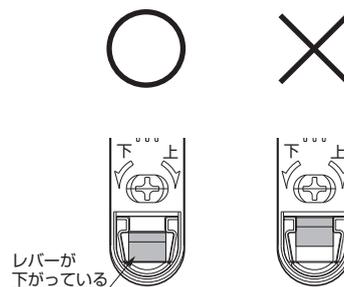
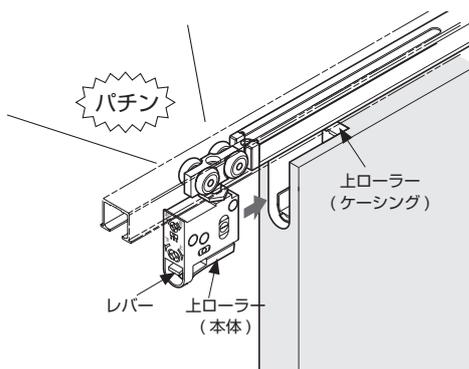


8 扉の吊り込み

扉の下に10mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



上ローラーをクリック音がするまで差し込む。



⚠ 注意

上ローラー (本体) がケーシングから外れないか確認してください。(戸先、戸尻両側)

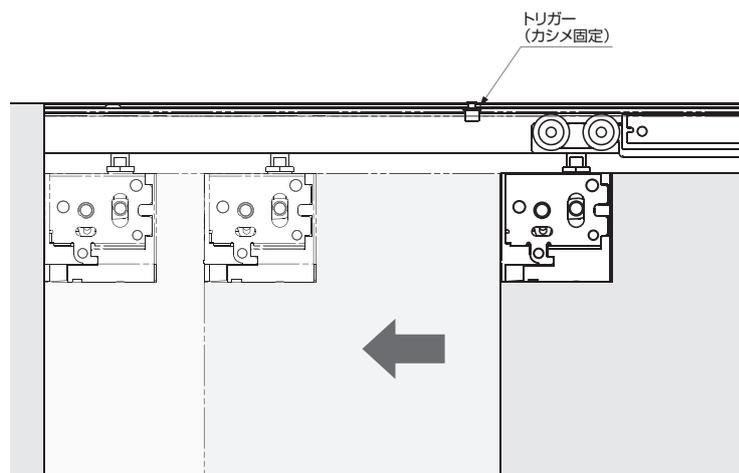
9 クローザーの動作確認

扉の下から10mmのかいものを外す。扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーがトリガーに当たり扉を閉めることを確認する。閉じ始め位置は縦枠に対して、戸先側が約100mm手前。

クローザーが正しく機能しない場合は、最終ページの「困ったときの対応」を参照。

⚠ 注意

扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構が機能しなかったり、破損の原因になります。



10 扉の位置調整

扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~13 mmになるように調整する。

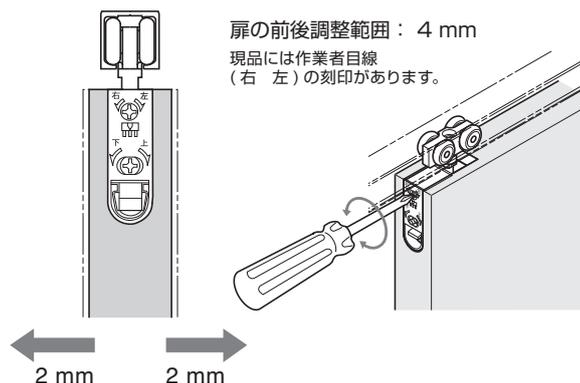
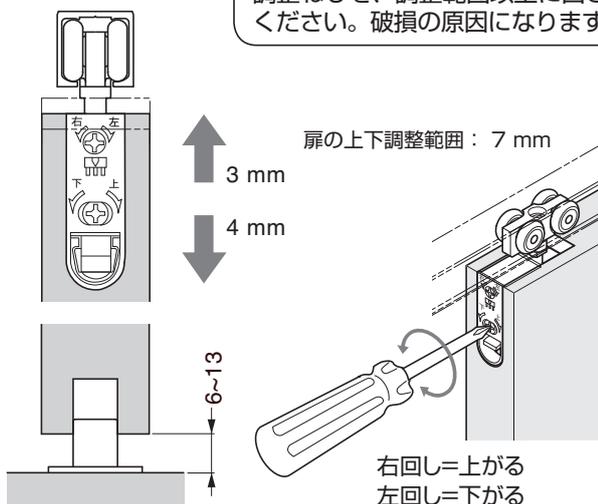
⚠ 注意

調整ねじを、調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。



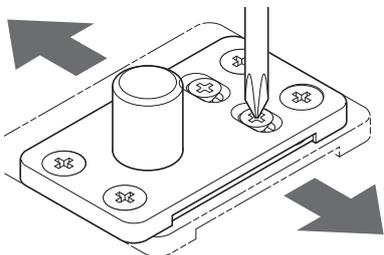
⚠ 注意

調整ねじを、電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。



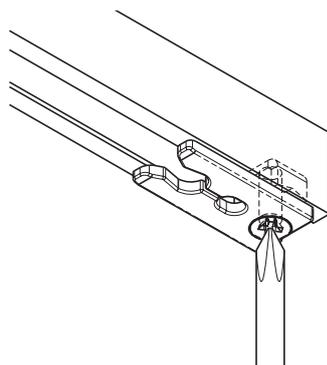
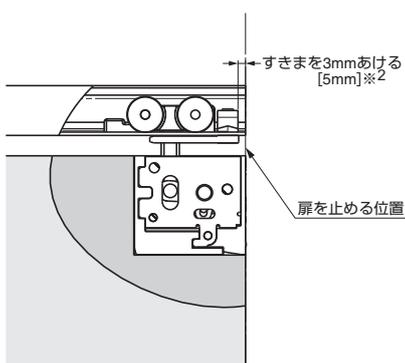
11 下ガイドの調整 (調整範囲±2mm)

扉をゆっくり開閉してください。
扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドと扉の前後を調整してください。



12 上キャッチの位置固定 (戸尻側)

上キャッチを、扉を止めたい位置から3mm手前で固定する。
扉をゆっくり動かして閉めたときに、扉が縦枠 (もしくは戸当り) に接触すると同時に上キャッチが上ローラーの軸部に掛かる位置に調整する。
(※² オプションの上ローラー用化粧キャップ⑥を使用する場合、扉を止めたい位置から5mm手前。)

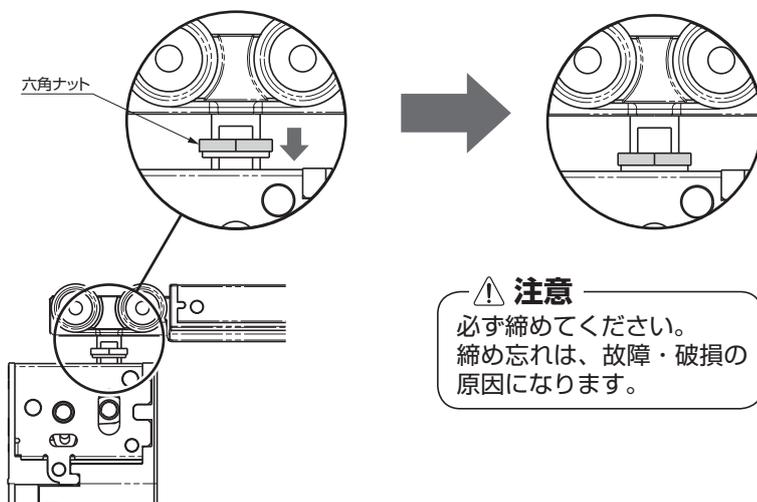
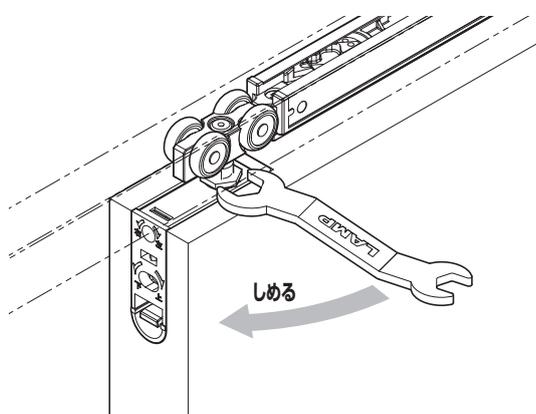


⚠ 注意

ねじを締めすぎないでください。
部品が変形するおそれがあります。

13 跳ね上がり防止ナットの固定

引戸クローザー側のローラー吊り軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまで付属のスパナで締め付ける。



⚠ 注意

必ず締めてください。
締め忘れは、故障・破損の原因になります。

以上で基本的な取付・調整は終わりです。

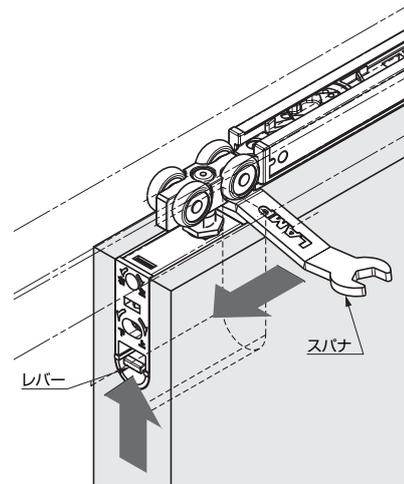
補足1 扉の外し方

扉の下に10mmのかいものをはさむ。
上ローラー（本体）のレバーを上を持ち上げたまま、上ローラー（本体）をケーシングから引き抜く。

付属のスパナなどでローラーの吊り軸を矢印方向に押すと外れやすいです。

⚠ 注意

扉を倒さないよう注意してください。



取り付け後の確認 | **ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。**

定期点検

- ・ レール内の掃除をおこなってください。
- ・ 扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面もしくは下ガイドに扉下面が擦っていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6～13mmになるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。
	モヘア等を使用していませんか。	モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じた場合、機能が十分に発揮されず、故障の原因になりますので、おやめください。
	手順4のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります。(レールを取り付けた状態では確認できません。)	戸先側と戸尻側それぞれの縦枠に対して、ゆっくりと確実に扉を押し込んでください。それでも改善されない場合は、扉とレールを取り外し、手順4の確認を行ってください。
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の前後調整をしてください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の前後調整、または下ガイドの位置調整をしてください。
	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
上キャッチがうまく機能しない	正しい上ローラーが取り付けられていますか。	デュアルソフトクローザー対応の上ローラー (FD30-WRH-N) を間違えて使用すると、跳ね上がり防止ナットが上キャッチと干渉します。正しいローラーと交換してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX **03 (3863) 6875**

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>